

下館

SHIMODATE ROTARY CLUB

WEEKLY REPORT 2021-22

Rotary International District 2820

第 02579号

発行日

令和3年10月13日

ロータリークラブ会報



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

シェカール・メタRI会長

本日のプログラム

外部卓話

木村美枝子 地区米山委員長

次週のプログラム

外部卓話 (10月27日)

米山学友会

会長／潮田武彦 副会長／岩崎晴男 幹事／宮田憲一 会長エレクト／潮田武彦

例会 毎週水曜日 12:30 ダイヤモンドホール (〒308-0847 茨城県筑西市玉戸1053-4 ☎0296-28-8511)

ホームページ <http://www.shimodate-rc.gr.jp> Eメール shimodate@ri2820.jp



前例会報告 第2955回 2021/10/6(水)

会長挨拶

潮田武彦 会長



皆様、こんにちは。やっと茨城県も緊急事態宣言が解除になりました。この間、筑西市もクラスターが発生するなど非常に不安でしたが、落ち着きを取り戻したようで、良かったです。

私も2回目のワクチン接種を終えて、少しだけほっとしました。とはいえ、いつコロナウイルスに感染するのか？わからないので、まだまだ気を抜かずに、気を付けましょう。

さて、10月は米山月間と地域社会の発展月間となっております。米山奨学会への寄付のご協力よろしくお願いします。

ジョフ・ジャエフ・ジャムフルさんの米山奨学生の期間が満期となり、米山奨学会を終了されました。ジョフ・ジャエフ・ジャムフルは、農業の学科を選考されていたので、例会などに参加された際に、いろいろとカザフスタンの農業の話を聞かせていただいたり、農業の勉強に頼まれて、私の農家仲間のところに連れていき、日本の農業について、積極的に学ばれていたことを思い出します。また非常に礼儀正しく一生懸命なことがジャムフルさんの印象として残っています。将来は、カザフスタンの農業の発展のために貢献したいという思いを胸に頂いているので、ぜひ米山奨学会の一員として、将来、日本とカザフスタンの懸け橋となってもらえることを期待しております。

本日、ジャムフルさんは、中間発表の準備のために例会に参加できなかったもので、皆さんへのお礼のメッセージを頂いております。

「この一年半の間、たいへんお世話になりました。ロータリーの皆様に、くれぐれもよろし

くお伝えください。皆様に、いろいろとお世話になり誠にありがとうございました。特に送迎をしていただいた潮田さん、神山さん、根岸さんには助けていただいてありがとうございました。私も皆様の様に、世の中に貢献できる人になれるように頑張っていきたいと思います。いつも宗教上、特別な料理を用意いただいた宮田さんのお気遣いにも感謝申します。本当にありがとうございました。」

また機会ありましたら、ジャムフルさんには例会に参加いただければと思います。

クラブ定款細則役員並びに理事選出規定第4条に則り、本日より7日間、会長ノミニーの立候補を受け付けます。立候補する方は、ご連絡ください。

それでは、本日もよろしくお願いします。

幹事報告

宮田憲一 幹事



○新井ガバナー事務所より

- ・ロータリーカード 第一地域コーディネーター通信
- ・20-21 年度ロータリー受賞クラブについて (下館 RC 受賞)

- ・米山記念奨学会 日本文化体験研修の案内 受理
- ・国際ロータリー会長会議の案内 受理

○第5分区ガバナー補佐より

- ・ガバナー公式訪問 準備例会の確認 受理

○岩瀬RCより ・9月会報 受理

■10月16日(土) 9:30 集合

『地球環境保全グローバルプロジェクト』報告会

■10月20日(水) 19:30 ~ (zoom)

情報委員会(ロータリー勉強会)



新入会員卓話

松浦真也 会員



皆さんこんにちは。水戸証券の松浦です。よろしく願いいたします。本日は僭越ながら新入会員卓話ということで話をさせていただくこととなりました。まずは、このような機会をいただいたことに対して感謝申し上げます。ありがとうございます。

コロナの影響で実はこの卓話も当初6月に依頼を受けまして、その後8月へずれ込み、また10月へとどんどん先送りを余儀なくされて……また人前で話をする機会もここ数年めっきりなくなってしまいまして、本当に緊張いたしております。

新入会員卓話としてせっかく機会をいただきましたので、極力眠たくならない話をして差し上げたいと思いますが、やっぱり証券会社の人間らしくマーケットや株の話を少々させていただきます。

しかし、最近ではほとんど乱降下してしまっていて、一筋縄にはいかない展開ですね。2月に30,000円とったまでは良かったのですが、その後だらだらして、菅さんが辞めたとたんバーッと上がったり、最近では中国の恒大集団でまた下がったりと、ほんとにいろんな意味で忙しいですね。

いろいろ話したいことは正直山ほどあるんですが、本日は中長期的な視点からまずは米国株の優位性についてお話するべきであろうと思いました。ですので日本株については、今回は遠慮させていただきます。当社注目銘柄の資料はお配りさせていただきましたが、本日は使いませんのでよろしければ目を通していただければと思います。ご質問に対しては個別で対応させていただきますのでよろしくお願いいたします。

日本株の優位性について熱く語りたい気持ちもあったりしますが、P7をご覧ください。いただくと分かっていただけたと思いますが、日本のマーケットというのはあまりネガティブな表現はしたくないのですが、実に主体性に欠けるマーケットであり今後のますますのグローバル化がささやかれる時代の資産運用には向いてないということが言えるわけであります。中長期的には米国株に完全に優位性があるというのが悲しいかな現実であり、本日はその根拠をほんの少しだけお話させていただければと考えております。ある意味釈迦に説法になってしまう部分も往々にしてあるかも知れませんがお話させていただきます。

皆さんのお手元にある資料は私自身よくお客様へ米国株のセールスする際に利用する資料ですが、9月21日に更新されとても簡潔にまとまっている良いものになっております。本日使う資料はこれのみです。是非ゆっくりとペラペラと眺めながらお話を聞いていただきたく思います。全てを説明する時間もございませんので、特に強調したい部分についてご説明させていただき、少しでもご興味を抱いていただければと考えております。

前置きが長くなりましたが、今回私が皆さんにお伝えしたい事(結論)をまず述べさせていただきます。わたしが言いたいことは回りくどい言い方なしで、ズバリ今後の資産運用を考える際に少しでも国内ものの株や債券だけでなく、米国株を取り入れてほしい、もっと言うところに入れるべきですよ、ということをお伝えしたいということにつきます。勿論無理にとまでは言うつもりは毛頭ございません。

具体的に言うといわゆるGAFA最近ではマイクロソフトを加えてGAFAMと表記されます。これらの銘柄を買ってほしい、もしくは個別銘柄で買い付けることにアレルギーやリスクを感じるのであれば、これらの銘柄を組み入れた投資信託を買い付けて是非2年3年と長期保有してみたいということです。そのことの根拠のひとつとなるであろう理由がズバリ年金運用の



なかにございます。

最近では心なしか少なくなりましたが、我々の新規開拓する際にお客様によく言われる断り文句「いやあ私はもう年金生活でお金もないから証券は関係ないんです、ごめんなさい。」という言葉です。いわゆる典型的な断り文句のひとつであります。ではここでいう、この年金は現在どのように運用されているのでしょうか、そのことを何となく知っていても詳細にご存知の方はさほどおられないのではと思われます。そのことについて少し解説させていただこうかなと考えております。そんなに難しい内容ではありませんのでリラックスしてお聞きくださいませ。

P1～P3を眺めていただいた後・・・

P4をご覧ください。GPIFの運用状況となります。「GPIFも見直す外貨資産の重要性」です。ご存じの方のほうが多いかもしれませんが、GPIFとは厚生労働省所管の年金積立金管理運用独立行政法人(長ったらしい名前ではありますが)のことであり、厚生年金と国民年金の積立金の管理・運用を行っております。2001年から運用を開始して約20年間運用しております。肝心なのは運用ポートフォリオ(資産配分比率)です。この資料に示されているように当初安定運用に主眼を置く運用を目指していた過去は国内債券が約7割を占めていた運用ポートフォリオであり、外貨資産の運用比率はたった17%ほどでありましたが、2014年から段階的に国内外の株式での運用比率を上げてきました。現在2020年度からは国内外の株と債券25%ずつ4等分の配分となっております。記載にはありませんが、現在の運用資産額はピンと来ないかもしれませんが191兆6189億円。収益額はなんと+100兆3182億円であり収益率は過去20年間で+3.70%(年率)となります。

ちなみに現在の4等分の配分比率とした昨年度の運用成績は過去最高の25.15%、収益額は37兆7986億円であります。その中で最も利益に貢献したのが外国株であり、米国株のウェイトが極めて大きいというのが現実です。年率

25%、すごいですね。銀行預金金利と比べたらバカバカしく感じたりしませんでしょうか。P4の右下に表記してありますが、年金運用における長期運用手段として外貨資産を組み入れることの重要性を国自体が認めているわけであり、すなわち何をもってして安定運用と言えるのか、という捉え方がより現実的になったと言えます。ということはつまり我々の資産運用においても応用しない理由がないということも言えるのではないのでしょうか。

P5をご覧ください。米国株式市場の市場規模を記しております。このことも皆様は良くご存知の方もおられるとは思いますが、日本株のシェアは743兆円、世界の時価総額のうちたった5.8%のシェアしかなく、米国株は5223兆円約40%と日本の約7倍と全く格が違います。いうなれば横綱とふんどし担ぎくらいの差があります。先程お伝えした情報技術の4社いわゆるGAFAだけで日本の時価総額に値するのが実情です。P5の下段に記述がありますが、とても重要な記述と思われます。我々日本人は特に資産運用において情報入手が容易である自国資産に投資を振り分けがちであります。はたしてそれで良いと言えるのでしょうか。物価下落のご時世であれば通貨価値が上がっていくので百歩譲ってそれもありかもしれませんが、現在はデフレは終わり現在はコロナの影響により世界的な金融緩和状況・低金利下であるとはいえ緩やかなインフレに、もうすでに入っております。その中で米国株投資は資産運用において避けては通れない運用手段であることはすでにはっきりしていることを知る必要があるのではないのでしょうか、ということがお伝えしたいわけであり、年金の運用自体はもうすでにそのことを悟っているということでもあります。

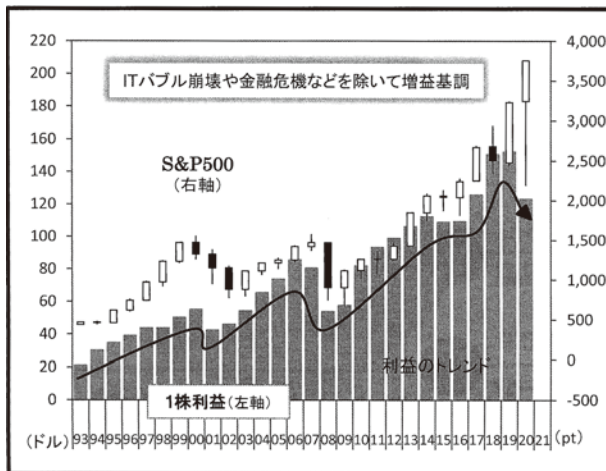
昨晚のNHKでたまたまやっていたのですが、現在海外から輸入される原材料費がここ直近米国や中国の経済回復のペースが速く高騰しており、鉄・銅・アルミなどがあがっています。低価格が売りのオープンハウスの社長が値上げせなしょうがないと嘆いておりました。欧米は



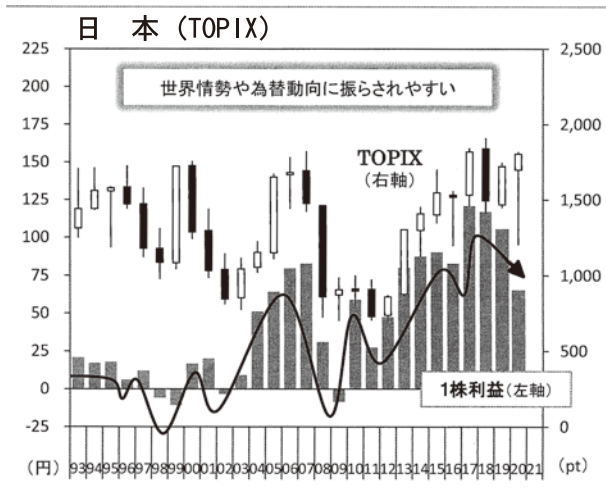
ここ数年物価の上昇と共に所得も上昇していますが、残念ながら我が国日本の所得は悲しいかなずっと横ばいであり、コロナ対策で足踏みしている間にさらに深刻化しつつある状態で物価だけが上がってしまっている状況、いわゆるコストプッシュインフレの状態となっています。岸田さんにはぜひとも所得倍増計画のような思い切った対策が求められており、今後スピード感が問われることとなるでしょう。よってご自身の資産管理の重要性はさらに高まってくるご時世となっています。

P6には世界の時価総額上位を占める銘柄群が示されております。上位20社中13社が米国株で占められています。説明するまでもございません。日本株は30位によくトヨタが入ってくるという状況であり、日本でブランド力のある会社であったとしても場合によってはその気になれば、あっという間に買収されてもおかしくない状況であります。

米 国 (S&P500)



日 本 (TOPIX)



ページをめくっていただいて P9 に米国株についての総括が記されております。収益力・技術革新・株主還元と、どれを取ってみても優位性が勝っているのは日本株より米国株であります。では具体的には、だからどないせっちゅうねんということですが・・・

そこで冒頭お伝えしたことに戻るのですが、ぜひともよろしければGAFAMの株をぜひ買ってみて下さい、またはリスクを軽減したいのであればそれらの銘柄が組み入られている投資信託を買ってみてください、ということです。もしそれ以外の銘柄がよろしければいくらかでも相談に乗らせていただきます。

しかし大切なのは株も投資もただ買うだけではなく運用過程における一部利益確定や資産配分の見直しなどを相場環境に沿って行う、つまりメンテナンスをすることで確実に運用実績を積み上げていくことが重要となってきます。分かりやすく言うと上がっても下がっても対応できる体制を整えることが大切です。我々の業界はそういう意味でアフターフォローを含めたお客様へのきめ細かなサービスの仕方で我々金融機関は皆さんから差別化を図られているのが実情であります。もしご縁があれば喜んでお力になりたいと思っております。

以上が本日お伝えしたかった話であります。まとまりのない話で恐縮であります。我々弊社のみならず証券会社は命の次に大切なものを扱う商売であります。ここにおられる諸先輩方を目の前にしていうことではないのかもしれませんが、お金だけで人生が豊かになる、幸せになるなどと、私自身も決して考えておりません。幸せの概念とはもっと深いものが間違いなく多くあると私自身も考えております。しかし、お金がないことでいろんな意味で不幸に陥ることはどうしても避けられない現実としてあるのではと考えられます。大それた言い方かも知れませんが、我々の仕事はほんの少しでもそのお金が原因で起こりうる不幸やストレスというものを軽減させることで、ささやかながら世の中



のお役に立つことが出来るところに社会的な意義があるのではと考えております。これはあくまでも私個人的な考えでしかありません。しかし、そうはいっても我々は神様でも仏様でもございませし、時にはお客様にご迷惑をおかけすることもございます。現実にも今までも数多くのお客様に迷惑をかけて苦い思いをしてきた経験は多々あり、そのたびに自己嫌悪に陥ることもしばしばあったりいたします。

当たり前のことではありますが、我々証券会社の社員は決して神にはなれません。ただし感謝の気持ちを忘れることなく誠心誠意対応すること、そしてお客様の意向に出来る限り沿いながら、逃げずに対応出来るか否かは日々の精進によって培っていける後天的な能力であると考えています。いつもそのことは自分自身に言い聞かせながら、また自分を棚に上げてでも日々管下社員に対しても教育し続けております。今後とも世の中のお役に立てるように日々精進してまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。また次回このような機会をいただけたときには、日本株の将来性について熱く語らせていただければと思います。ご質問等ある方はどうぞお気軽に私のほうまでお声がけいただければ大変嬉しく思います。以上です。

本日はご清聴ありがとうございました。

スマイルBOX 鈴木 健一 副委員長

▶潮田 武彦さん やっと緊急事態宣言が解除になりました。よかったです。

松浦会員の卓話、楽しみにきました。宜しくお願いします。

▶宮田 憲一さん 松浦さんの卓話、楽しみにしております。

皆様のご健康を祈念して。

▶神山 芳子さん 久しぶりの例会再会を楽し

みにしていました。皆様宜しくお願い致します。

▶岩崎 晴男さん 松浦会員の卓話、楽しみにしていました。

▶関谷 徹さん 松浦会員の卓話、楽しみにしています。

今月もニューモラルを配布させていただきます。

▶新井 利平さん 久しぶりです。皆さんお元気でしたか。

松浦会員、卓話宜しくお願い致します。

▶早瀬 浩一さん 松浦真也会員、卓話宜しくお願いします。今のところ、ガバナー事務所はスタッフの協力のおかげで順調に行われています。ありがとうございます。

▶小林 一彦さん 松浦真也会員殿の卓話、楽しみにしております。宜しくお願いします。

▶中丸 健さん 松浦さん、卓話宜しくお願いします。

▶佐藤 昭さん しばらく休んでしまい、申し訳ないです。

▶百目鬼博行さん 松浦さんの卓話を記念して。

▶葉 章二さん 松浦さん、卓話楽しみにしております。

▶松浦 真也さん 皆さん、お疲れ様です。本日は卓話をさせていただきます。宜しくお願い致します。

▶根岸 千聡さん 松浦会員の新人会員卓話、楽しみにしております。

▶鈴木 健一さん 松浦会員、卓話宜しくお願いします。楽しみです。

本日の合計 20,000 円 累計 133,000 円

出席報告

根岸 千聡 委員長

会員数	出席数	欠席数	病欠	免除
27	16	6	1	4



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理規準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理想を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。